

2026 年 9 月 25 日
日本銀行盛岡事務所

岩手県金融経済概況（2026 年 7～8 月）

1. 概 況

県内経済は、一部に弱めの動きもみられるが、持ち直している。

最終需要の動きをみると、公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。設備投資は、増勢が鈍化している。個人消費は、緩やかに回復している。住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。この間、生産は、緩やかに回復している。雇用・所得環境は、緩やかに改善している。消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を上回っている。

2. 最終需要

公共投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

先行指標である公共工事請負金額（2026 年 8 月）は、3 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+36.1%）。

設備投資は、増勢が鈍化している。

2026 年 6 月短観（岩手県）の設備投資額をみると、2026 年度は非製造業が前年度を下回る一方、製造業が前年度を上回っており、全産業では前年度を+0.4%上回る計画となっている。

個人消費は、緩やかに回復している。

百貨店売上高（全店舗ベース：2026 年 7 月）は、12 ヶ月連続で前年を下回った（前年比▲18.6%）。スーパー売上高（全店舗ベース：2026 年 7 月）は、6 ヶ月連続で前年を上回った（同+2.9%）。また、新車登録・届出台数（乗用車<含む軽>：2026 年 8 月）は、5 ヶ月連続で前年を上回った（同+2.7%）。

この間、サービス消費は、緩やかに増加している。

住宅投資は、横ばい圏内の動きとなっている。

新設住宅着工戸数（2026 年 7 月）は、3 ヶ月連続で前年を上回った（前年比+11.7%）。内訳をみると、貸家（同▲24.6%）が前年を下回った一方、持家（同+53.8%）、分譲（同+55.6%）が前年を上回った。

3. 生産動向

生産は、緩やかに回復している。

鉱工業生産指数（季節調整値：2026年6月）は、2ヵ月連続で前月を上回った（前月比+8.4%）。主な業種の指数をみると、鉄鋼等が低下した一方、電子部品・デバイス、生産用機械等が上昇した。

四半期の動きをみると、2026/4～6月は4期連続で上昇した（2025/10～12月：前期比+4.7%、2026/1～3月：同+5.2%、4～6月：同+0.7%）。

4. 雇用・所得動向

雇用・所得環境は、緩やかに改善している。

有効求人倍率（季節調整値：2026年7月）は、1.16倍と、前月（1.12倍）から上昇した。

雇用者所得（県内合計値：2026年6月）は、常用雇用指数（前年比+0.8%）が前年を上回った一方、名目賃金指数（同▲6.1%）が前年を下回ったことから、5ヵ月振りに前年を下回った（同▲5.4%）。

5. 物価

消費者物価指数（除く生鮮食品：2026年8月）は、引き続き前年を上回った（前年比+2.5%）。

6. 企業倒産

企業倒産（2026年8月）は、3件、負債総額663百万円となった（前年同月）は3件、負債総額230百万円）。

7. 金融面の動向

県内民間金融機関の預金・貸出（2026年7月）をみると、預金、貸出ともに前年を上回った。貸出約定平均金利（2026年7月）は上昇している。

以 上

お問い合わせ：
日本銀行盛岡事務所
019-624-3622

<ホームページ>

